

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成28年2月4日 (2016.2.4)

【公表番号】特表2015-500328(P2015-500328A)

【公表日】平成27年1月5日 (2015.1.5)

【年通号数】公開・登録公報2015-001

【出願番号】特願2014-546670(P2014-546670)

【国際特許分類】

A 6 1 K 35/74 (2015.01)  
 A 6 1 P 35/00 (2006.01)  
 A 6 1 K 51/00 (2006.01)  
 A 6 1 K 33/18 (2006.01)  
 A 6 1 K 33/16 (2006.01)  
 A 6 1 K 33/24 (2006.01)  
 A 6 1 K 38/00 (2006.01)  
 A 6 1 K 48/00 (2006.01)  
 A 6 1 K 31/7105 (2006.01)  
 A 6 1 K 31/713 (2006.01)  
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)  
 A 6 1 K 39/395 (2006.01)  
 A 6 1 P 35/04 (2006.01)  
 A 6 1 P 9/00 (2006.01)  
 A 6 1 K 31/704 (2006.01)  
 A 6 1 K 31/475 (2006.01)  
 A 6 1 K 31/337 (2006.01)  
 A 6 1 K 31/282 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 35/74 B  
 A 6 1 P 35/00  
 A 6 1 K 43/00  
 A 6 1 K 33/18  
 A 6 1 K 33/16  
 A 6 1 K 33/24  
 A 6 1 K 37/02  
 A 6 1 K 48/00  
 A 6 1 K 31/7105  
 A 6 1 K 31/713  
 A 6 1 P 43/00 1 0 5  
 A 6 1 K 39/395 C  
 A 6 1 K 39/395 E  
 A 6 1 K 39/395 L  
 A 6 1 K 39/395 T  
 A 6 1 P 35/04  
 A 6 1 P 9/00  
 A 6 1 K 31/704  
 A 6 1 K 31/475  
 A 6 1 K 31/337  
 A 6 1 K 31/282

## 【誤訳訂正書】

【提出日】平成27年12月2日(2015.12.2)

## 【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0014

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0014】

ミニセルが包含する抗新生物剤は、放射性核種、例えば、イットリウム-90、テクネチウム-99m、ヨウ素-123、ヨウ素-131、ルビジウム-82、タリウム-201、ガリウム-67、フッ素-18、キセノン-133、またはインジウム-111などであってもよく、これらはミニセルの表面上のタンパク質または糖質に付着していてもよく、またはミニセルの表面上に付着した腫瘍を標的化するリガンドの表面上に付着していてもよい。この状況において、前記組成物は、例えば、約30 Gy～約100 Gyの放射能を含有しうる。抗新生物剤はまた、化学療法薬であってもよく、その場合、例えば、組成物は多くてもその約1mgを含有する。さらに、抗新生物剤は機能性核酸、または機能性核酸をコードするポリヌクレオチドであってもよい。こうして機能性核酸は、腫瘍細胞増殖、血管新生または化学療法耐性を促進するおよび/またはアポトーシスまたは細胞サイクル停止を阻害する遺伝子を抑制することができる。機能性核酸のクラスの例は、siRNA、miRNA、shRNA、lincRNA、アンチセンスRNA、およびリボザイムからなる群より選択されるリボ核酸分子である。

## 【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0132

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0132】

グラム陰性菌由来のミニセルの他の構造エレメントは、脂質Aアンカーを介して外膜に包埋されたりポ多糖(LPS)のO-多糖成分である。この成分は1つの鎖当たり4～5糖の70～100の反復ユニットを持つ反復糖質残基ユニットの鎖である。これらの鎖はin vivoのような液環境において強固でないので、サンゴ海環境の海藻の外観を与える波状のフレキシブルな構造を採用しうる；すなわち、これらの鎖はミニセル膜にアンカーして留まる一方、液と共に動く。

## 【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0150

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0150】

本開示によれば、上記の標的化送達手法で有用なリガンドには、標的細胞上の表面成分およびミニセル上の表面成分と結合するいずれの薬剤も含まれる。好ましくは、標的細胞上の表面成分は受容体である。リガンドはポリペプチドおよび/または糖質成分を含みうる。抗体は好ましいリガンドである。